

9月定例会議 9月9日～19日

【定例会議のあらまし】

9月定例会議では、条例の一部改正、一般会計・各種特別会計・病院事業会計の補正予算、各種会計等決算認定、教育委員任命の同意などが提案され、全て可決、同意、認定としました。

一般質問では、3人の議員が町長に考えを問いました。

◆下川町公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

下川町総合福祉センター「ハピネス」の機能訓練室にある運動器具の経年劣化などにより、その利用を令和7年2月28日をもって終了することに伴い、機能訓練室の使用料の規定を条例から削除することと、下川町まちおこしセンター「コモレビ」を指定管理できるように条例に追加するものです。

質問 現在ある運動器具は今後も維持して使用するのか。

答 現在あるエアロバイク台は、元気教室で使用し、ウォーキングマシーンについては、事故防止の観点などから廃棄処分とする。

質問 まちおこしセンター「コモレビ」を指定管理にするメリットは。

答 現在は、観光協会に管理運営などの業務を委託しているが、貸館の使用許可は出せなかった。指定管理とすることで、貸館業務も委託でき、貸館の使用許可が速やかに出せるようになることで、利用者のサービス向上につながる。

意見

まちおこしセンター「コモレビ」を指定管理にすることで、今まで以上に利便性が良くなることを期待する。

◆一般会計補正予算（第3号）

国の制度改正や緊急を要するもの、職員の人事異動などに伴うなどによる補正予算です。

主な内容は、
・有害鳥獣捕獲等事業

ヒグマ出没対策として赤外線カメラを搭載し、ズーム機能や音声出力を備えたドローン購入費
97万円増額

・中小企業振興事業

中小企業が行う新商品開発、販路開拓、人材育成、空き店舗利活用などに対する中小企業振興事業補助金 560万円増額
・多目的宿泊交流施設（アイキャンハウス）管理事業
アイキャンハウスの経年劣化に伴う取替の修繕費など
441万円増額

質問

有害鳥獣捕獲等事業のドローン導入で期待される効果は。

答 導入するドローンは、赤外線カメラや音声出力などの機能を有しており、有害鳥獣探索のほか、災害時の利活用が考えられる。

質問

アイキャンハウスのサッシ取替などは、当初予算で計上する性質のものではないか。

答 施設を確認したところ利用者の居住環境の向上と厳冬期に向け

た修繕が必要と判断し、今回の予算計上となった。

意見

中小企業振興事業は、中小企業者が意欲をもって事業に取り組むことができ、地域振興にもつながることから、実りある結果となることを期待したい。
多目的宿泊交流施設管理事業は、定期的に指定管理者と情報共有を行い、管理運営上で必要な修繕などについては、当初予算で計上するなど適切な予算計上となるよう進めていただきたい。



サッシの取替修繕を行うアイキャンハウス